

# 令和元年度【上期】小樽市観光入込客数の概要

本年度上期の観光入込客数は、396万9,700人で対前年度比1万4,800人増の100.4%となりました。

道外客数は、継続的な海外プロモーションや道外物産展等でのPR活動の効果もあり、対前年度比で105.3%の183万5,600人となりましたが、道内客数は、GW10連休は好調だったものの、その反動の影響もあり、対前年度比で96.5%の213万4,100人となりました。

宿泊客数は、宿泊施設の増加等により対前年度比で110.2%の46万2,800人となりました。特に、外国人宿泊客数については、海外旅行博への出展や旅行会社担当者等の招請事業、SNS等を活用した継続的な情報発信などにより、対前年度比で102.2%の9万2,673人となり、7年連続で過去最高を更新しました。国別の宿泊者数では、日韓関係悪化の影響により、韓国が対前年度比78.7%の1万9,707人となったものの、2年連続でトップとなりました。また、平成30年12月に新千歳空港との直行便が就航されたフィリピンが対前年度比284.5%と大きく増加したほか、札幌で開催されたラグビーW杯の影響等によりオーストラリアをはじめ欧米豪州諸国の宿泊者数が増加しました。

※平成30年9月に胆振東部地震が発生したため、平成29年度との比較も記載。

## 1 観光入込客数

(100人未満四捨五入)

区分	平成30年度	令和元年度	対前年度増減	対前年度比
上期	395万4,900人	<b>396万9,700人</b>	1万4,800人	100.4%

### 【参考】

区分	平成29年度	令和元年度	対前々年度増減	対前々年度比
上期	408万7,200人	<b>396万9,700人</b>	▲11万7,500人	97.1%

## 2 道外・道内客数

(100人未満四捨五入)

区分	平成30年度	令和元年度	対前年度増減	対前年度比
道外客数	174万2,600人	<b>183万5,600人</b>	9万3,000人	105.3%
道内客数	221万2,300人	<b>213万4,100人</b>	▲7万8,200人	96.5%

### 【参考】

区分	平成29年度	令和元年度	対前々年度増減	対前々年度比
道外客数	174万2,000人	<b>183万5,600人</b>	9万3,600人	105.4%
道内客数	234万5,200人	<b>213万4,100人</b>	▲21万1,100人	91.0%

### 3 宿泊・日帰り客数

(100人未満四捨五入)

区分	平成30年度	令和元年度	対前年度増減	対前年度比
日帰り客数	353万4,900人	350万6,900人	▲2万8,000人	99.2%
宿泊客数	42万人	46万2,800人	4万2,800人	110.2%
宿泊客延数	49万2,400人	53万7,700人	4万5,300人	109.2%

#### 【参考】

区分	平成29年度	令和元年度	対前々年度増減	対前々年度比
日帰り客数	368万1,500人	350万6,900人	▲17万4,600人	95.3%
宿泊客数	40万5,700人	46万2,800人	5万7,100人	114.1%
宿泊客延数	46万5,700人	53万7,700人	7万2,000人	115.5%

### 4 修学旅行宿泊客数

区分	平成30年度	令和元年度	対前年度増減	対前年度比
修旅宿泊客数	7,448人	6,058人	▲1,390人	81.3%
修旅宿泊学校数	93校	88校	▲5校	94.6%

#### 【参考】

区分	平成29年度	令和元年度	対前々年度増減	対前々年度比
修旅宿泊客数	6,881人	6,058人	▲823人	88.0%
修旅宿泊学校数	74校	88校	14校	118.9%

### 5 外国人宿泊客数

区分	平成30年度	令和元年度	対前年度増減	対前年度比
外国人宿泊客数	9万636人	9万2,673人	2,037人	102.2%
外国人宿泊客延数	11万1,062人	12万2,011人	1万949人	109.9%

#### 【参考】

区分	平成29年度	令和元年度	対前々年度増減	対前々年度比
外国人宿泊客数	8万1,760人	9万2,673人	1万913人	113.3%
外国人宿泊客延数	9万2,061人	12万2,011人	2万9,950人	132.5%

【参考・令和元年度上期 宿泊客数トップ10の過去5年間の推移】

区 分		R 元		H30		H29		H28		H27	
		人数	前年比								
1位 韓国	宿泊人数	19,707	78.7%	25,027	136.4%	18,345	174.3%	10,526	165.7%	6,354	147.6%
	宿泊延数	24,639	84.7%	29,104	147.8%	19,686	174.8%	11,263	166.0%	6,784	148.8%
2位 中国	宿泊人数	16,270	101.0%	16,103	82.6%	19,505	135.6%	14,379	99.6%	14,442	183.3%
	宿泊延数	21,030	105.5%	19,936	91.2%	21,867	137.4%	15,911	102.2%	15,569	183.3%
3位 台湾	宿泊人数	15,769	117.7%	13,392	121.3%	11,043	110.1%	10,029	132.7%	7,557	89.0%
	宿泊延数	20,426	129.2%	15,814	127.9%	12,364	114.3%	10,821	133.7%	8,091	91.3%
4位 香港	宿泊人数	14,082	94.5%	14,898	105.6%	14,105	152.9%	9,226	113.9%	8,098	132.6%
	宿泊延数	20,007	104.0%	19,233	118.8%	16,196	154.2%	10,504	106.7%	9,840	139.6%
5位 タイ	宿泊人数	6,152	102.6%	5,995	120.3%	4,982	86.5%	5,760	89.8%	6,413	114.3%
	宿泊延数	7,681	110.7%	6,940	126.7%	5,478	90.0%	6,084	89.1%	6,828	117.3%
6位 シンガポール	宿泊人数	6,104	118.3%	5,161	89.3%	5,780	143.5%	4,028	101.6%	3,964	173.5%
	宿泊延数	8,086	131.2%	6,163	91.9%	6,703	147.8%	4,535	102.3%	4,433	167.3%
7位 マレーシア	宿泊人数	3,284	111.7%	2,940	101.5%	2,896	97.3%	2,975	232.4%	1,280	176.6%
	宿泊延数	4,520	126.4%	3,575	106.5%	3,356	100.7%	3,332	226.5%	1,471	182.3%
8位 アメリカ	宿泊人数	2,906	120.1%	2,420	151.3%	1,599	117.1%	1,365	163.7%	834	92.0%
	宿泊延数	4,108	107.4%	3,824	190.4%	2,008	118.5%	1,694	160.0%	1,059	96.3%
9位 オーストラリア	宿泊人数	1,225	194.4%	630	116.2%	542	92.5%	586	149.1%	393	117.7%
	宿泊延数	1,732	196.4%	882	120.0%	735	87.6%	839	158.9%	528	116.6%
10位 フィリピン	宿泊人数	515	284.5%	181	50.8%	356	147.1%	242	170.4%	142	182.1%
	宿泊延数	629	309.9%	203	52.9%	384	153.6%	250	152.4%	164	174.5%

## 6 海水浴客数

区 分	平成 30 年度	令和元年度	対前年度増減	対前年度比
海水浴客	14 万 100 人	<b>14 万 6,000 人</b>	5,900 人	104.2%

【参考】

区 分	平成 29 年度	令和元年度	対前々年度増減	対前々年度比
海水浴客	12 万 一 人	<b>14 万 6,000 人</b>	2 万 6,000 人	121.7%

以上